



アウトドアの魅力を満喫

キャンプしようよ in 猪苗代を開催



大自然の中で思い思いにライブを楽しむ参加者ら

「キャンプしようよ in 猪苗代」は6月1、2の両日、天神浜オートキャンプ場で開かれ、参加者らがアウトドアの魅力を満喫しました。泉谷しげるさんらによるライブのほか、曲淵大根クラブ



餅つき大会の様子

による餅つき大会や川柝揺真鼓楽会による太鼓の演奏なども繰り広げられ、会場を盛り上げました。家族らと訪れた澤内玲菜さん(古城町)は「湖の近くで飲んで食べて、音楽も聞ける。いいイベントなので、また開催してほしいです」と話しました。

自然豊かなコースを疾走

南ヶ丘牧場でMTB耐久レース



スタート直後、牧場の坂を駆け上がる選手ら

マウンテンバイク(MTB)の3時間耐久レース「ジンデューロ猪苗代」は6月16日、南ヶ丘牧場で開催され、参加者らが起伏に富んだ自然豊かなコースを駆け抜けました。

毎年同牧場で開かれるMTBレース「ジンギスカップ」を運営する「ジンギス友の会」が初めて開催したもので、当日は男女ソロ、チーム、男女混合のミックス、ファミリーの各部門に合わせて約130人が参加。家族やチームメイトらの声援を受けながら、熱いレースを繰り広げました。レース終了後には、多くの参加者が家族や仲間らと共にジンギスカンを楽しみました。

仲間と一緒に心地よい汗を

カメリーナで町高齢者スポーツ大会



「ファッションショー」でテーブルを切る吾妻地区の選手

町高齢者スポーツ大会は6月12日、カメリーナで開催されました。町と町老人クラブ連合会が主催するこの大会には、町内6地区から249人が出場。各地区の参加者から仲間に対する声援が上がり、カメリーナ中に響き渡りました。

参加者らは、1人のモデルをみんなで着替えさせる「ファッションショー」、キンボールという大玉を転がす「キン転がし」やラグビーボールを棒で転がして進む「豚追い競走」など12種目に挑み、仲間たちと一緒に心地よい汗を流しました。

地区別では、翁島地区が優勝、千里地区が準優勝でした。

佐藤ツルノさんが満100歳に

長寿を祝い、知事賀寿などを贈呈



前後町長から賀寿を受ける佐藤さん(右)

6月18日に満100歳の誕生日を迎えた佐藤ツルノさん(小平湯)への知事賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホームいなわしろホームで行われ、家族らが長寿を祝いました。

樋山公則会津保健福祉事務所副所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈った後、長女の野澤ヨシ子さんらが花束を手渡しました。あいさつに立った孫の勝弘さんは「大変うれしく、誇りに思う。この日を迎えられたのは今までお世話になった皆さんのおかげです」と感謝の言葉を述べました。

町の農業振興への尽力に感謝

農業委員の佐藤光幸さんに感謝状



前後町長から感謝状を受ける佐藤さん(左)

町農業委員を退任した佐藤光幸さんへの町の感謝状贈呈式は6月20日、町役場で執り行われました。

前後町長は佐藤さんに感謝状を手渡し「長年にわたり町の農業振興のためにご尽力いただきありがとうございました。今後も本町における農業のさらなる発展のためにお力添えをお願いします」とお礼の言葉を述べました。

佐藤さんは通算で4年11カ月の間、委員を務められました。

天鏡閣の桜の写真など8点

桜フォトコンテスト入賞作品決定



町役場で開かれた最終審査会の様子

猪苗代観光協会が主催する「猪苗代町の桜フォトコンテスト」の入賞作品が決定しました。同コンテストは本町の桜の名所などをPRするために開かれたもので、観音寺川、町営牧場や磐椅神社の大鹿桜など、約280点の作品が応募されました。最高賞にあたる町長賞には、天鏡閣で撮影した渡部清さん(会津若松市)が選ばれました。受賞者は次のとおりです(敬称略)。

町長賞=渡部清、議長賞=薄井光雄(白河市)、協会長賞=佐藤澄子(本宮市)、佳作=小林正夫(三春町)、伊藤留夫(大玉村)、佐藤源策(郡山市)、千原武和(同)、渡辺和久(同)